

薔薇の会

薔薇の会 会報

No.42
2023.12.1



創立60周年を迎えて

薔薇の会会長 山内 美恵子



今年、私達の母校が創立60周年を迎えました。数年続いたコロナ禍で、本部の活動も停止状

態が続いておりました。総会はもちろん本部の役員会も開催できず、入学式・卒業式への参加のみでした。各地にある支部も同様だったと思います。

学長先生も現花田学長に代わり、学科編成も子ども福祉未来学科の中に、保育専攻とコミュニケーション福祉専攻。コミュニケーション福祉専攻の中に、介護福祉コース、キャリアビジネスコースとなり、時代に必要な人材の育成の場となっております。明の星短期大学も少子化の影響を受けて、入学生が減少していると感じております。

これからの同窓会の活動も、少子化の中で学生の確保に協力していただろうと思っております。地域での活動が社会貢献になり、一人でも多く学生を増やしていければ母校の為になるのではと考えております。

最後になりますが、本部役員及び支部役員の高齢化が進んでおります。若い方々のお力を貸していただけたら、もっと活発な活動ができる同窓会になると思っております。

青森明の星短期大学のホームページの中に、同窓会「薔薇の会」のページも公開されておりますので、是非ご覧ください。参加して下さる方のご連絡をお待ちしております。



学長に就任して

名誉会長 学長 花田 慎



薔薇の会の皆様、はじめまして。私は昨年4月に、長谷川みほ先生の後任として学長に就任

しました。歴史と伝統のある本学の舵取り役として、私は学生・教職員をはじめ、保護者、同窓生、関係機関など、多くの方々の思いや願いを受け止め、責任を果たすことを心に誓いました。そして少子化など短期大学を取り巻く環境が厳しい中においても、「学生をしっかり育て、高校生から選ばれる短大」を目指します。

2020年4月、むつ市内に下北キャンパスを開設しました。遠隔授業システムを活用し、地区内の学生が自宅から通って学べるようになりました。卒業生は地元企業や行政等の職場で活躍しています。

今年11月1日、短大創立60周年記念式典・講演会を開催しました。また記念事業としてジムナズへのエアコン設置、ICTを活用した教育環境整備などを行いました。薔薇の会からの多大なご支援に感謝申し上げます。

昨年「同窓生奨学基金」を新たに設置しました。同窓生のお子様やお孫様等が短大に入学する際は入学金が減免されます。短大は現在学生確保が最大の課題です。同窓生の皆様には奨学金の活用のほか、ご親戚やご友人などへ本学をご紹介いただければ幸いです。

薔薇の会におかれましては、これからも会員の皆様が親しく交流されるよう期待するとともに、引き続き短大に対するご支援・ご協力をお願い申し上げます。

フロレテ・フロレスの精神を受け継いで

子ども福祉未来学科 学科長 最上 和幸



令和4年4月から本学に赴任し、子ども福祉未来学科長を拝命しております。その前は、36年間青森県職員として福祉行政に携わって参りました。特に、児童相談所や児童福祉施設など現場での経験も長く、また、社会福祉士として、地域のひとり親家庭の子どもたちに対する学習支援活動も続けてきました。

本学では、実務家教員として実践に基づき研究を行い、その成果を教育に活かしていきたいという思いで仕事をしています。明の星に勤務してから、様々な会合で、「私も卒業生なんですよ」と声を掛けていただこうになりました。会社経営されている方や地域でボランティア活動されている方など、皆さん当時の思い出を楽しそうに語り、また、今取り組んでおられる活動についても生き生きとお話しされます。お話を聞きながら、歴史ある「明の星ブランド」がこの地に根付き、今の学園を支えているんだと実感しています。

今後、多くの方の協力を得ながら、先輩方の思いを受け継ぎ、学生一人ひとりが自分の夢を叶えられるよう、学びの成果を実感でき、社会の中で力を発揮できる人材の育成に全力で取り組んでいきます。

保育専攻の近況



子ども福祉未来学科
保育専攻長
泉谷 千晶

保育専攻

令和5年度は、青森明の星短期大学創立記念60周年記念の年であります。そして、保育士養成においては58年目となり、現在では「保育専攻」と名称も変化していますが、明の星の「正浄和」の心を大切にする保育者養成の歴史と伝統は脈々と引き継がれています。保育専攻の近況報告として、地域に

開かれた3つの活動についてご紹介します。

①こどものための

「あけたんおたのしみ会」

明の星の保育といえば、「表現研究発表会」の伝統がありました。しかし、2019年からコロナ禍でホールに人が集うことが困難になり、様々な形を模索し、2021年度より近隣の幼稚園等に学生たちがグループに分かれて訪問し、交流・発表を行う形に変わりました。企画や現場の先生方との打ち合わせも含め、学生たちの保育の企画力や実践力の育成に力を入れています。

②卒業支援やリカレント講座

(現場との意見交換会)

定期的に現場の意見を聞く機会として意見交換会を行っています。実習や

卒業支援に関する現場の声を、教育内容やリカレント講座の内容などに活かし、その他にも職場訪問なども行っています。卒業生の皆様には、是非卒後の研修の場としてリカレント講座を活用して頂ければ幸いです。

③「保育の魅力発信」プロジェクト

地域のショッピングモールでのステージ発表や託児コーナー、またジムナイズでの子育て支援活動「あそびのひろば」など、様々な形で学生と教職員が地域での交流活動を行い、保育の学びや魅力を発信しています。その様子は随時、短大のホームページや「アケタン」保育チャンネル(YouTube)やInstagramなどで見ることが出来ます。是非保育専攻の活動の様子を見守り、応援して頂ければ嬉しいです。

最先端を行く

コミュニティ福祉専攻



子ども福祉未来学科
コミュニティ福祉専攻長
山口 章

介護福祉コース

2021年度介護福祉士国家試験合格率100%(全国72.3%)を達成、続く22年度も92%(全国84%)と高水準をキープしています。この結果は、もちろん、学生の頑張りが一番ですが、教員陣の並々ならぬ努力の成果とも言

キャリアビジネスコース

最大の特色は簿記教育です。全国の短大で初めて、日商簿記のEラーニングシステムを導入し、4年制大学を凌ぐ大きな成果を上げています。教員による教室での授業に加えて、24時間、カリスマ公認会計士による簿記の授業がスマホやパソコンで受けられます。普通高校卒で初めて簿記を学ぶ学生も

3級は普通に合格でき、1年生のうちに2級に合格する学生もいます。その他、パソコンの技能を証明するMOS検定、TOEICの授業など、社会が求める資質・能力を最大限に高めています。

専攻長メモ

- ◆資格・役職
英国CMI認定 Sustainability(CSR) Practitioner、
日本商業教育振興会会長代行副会長、
GLOBAL G.A.P.協議会顧問、
Presentation Evangelist
- ◆主な担当授業
SDGs論、プレゼンテーション演習、
プロジェクト演習
- ◆特技・趣味
料理(主にイタリアン)

子ども福祉未来学科

保育専攻

子どもの成長や保護者の子育てを支えていくために必要な専門的知識や技能を確実に身につけ、高い専門性を持った保育者を養成します。

取得できる資格

- 保育士資格
- 幼稚園教諭二種免許状
- 社会福祉主事任用資格など

将来の活動分野

- 幼稚園 ●保育園
- 認定こども園 ●児童福祉施設

コミュニティ福祉専攻

介護福祉コース

介護福祉の専門職として個人の生活環境やライフサイクルの視点等を理解し、尊厳を守り支援することができるよう学びます。

取得できる資格

- 介護福祉士(国家試験受験資格)
- 社会福祉主事任用資格など

将来の活動分野

- 高齢者福祉施設
- 障害者支援施設など

キャリアビジネスコース

公務員、一般企業就職、留学に焦点を絞ったビジネス系コースです。持続可能な企業や地域づくりにコスト感覚をもって確実に貢献できる人材を育成します。

取得できる資格

- 日商簿記検定(1・2・3級)
- MOS ●TOEIC
- ビジネス実務士など

将来の活動分野

- 行政(公務員) ●一般企業
- 大学進学・編入など

青森明の星短期大学 創立60周年記念式典・講演会



60周年記念式典



60周年記念講演会

11月1日(水)、創立60周年記念式典・講演会が行われました。在校生や教職員、ご来賓の方など約240名が出席しました。

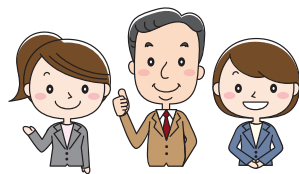
式典を始めるにあたり、カトリック仙台司教区教区長司教ガクタン・エドガル様より祝福の言葉を賜りました。その後、花田学長より式辞、島村理事長から挨拶がありました。ご来賓の皆様を代表して、むつ市長山本知也様よりご祝辞を頂きました。

記念講演会では、上智大学神学博士学科教授の原敬子先生から「もし令和の時代にイエスがいたら…」という演題でご講演いただきました。キリスト教を現代的な視点で読み解き、「自己紹介の意味するもの」「祈りとは」についての演習を行いました。私たちの日常生活や生き方などについて様々な気づきを得ることができ、とても有意義で楽しい時間となりました。

2023年度役員一覧

	氏名	期
名誉会長	花田 慎	
顧問	成田 恵子	
会長	山内美恵子	7K
副会長	浅利 礼子	20K
	金澤 拓紀	51C
会計	八代 敦子	15E
	三上 香織	24K
庶務	石田 薫	15E
	石原 裕美	26K
監査	花田 啓子	4K
	奥田 恵子	22E

	氏名	期
北見支部長	大谷 圭子	20M
室蘭支部長	須藤 亮	11M
函館支部長	善波 友美	20M
盛岡支部長	阿部由紀子	4E
宮古支部長	昆野満佐子	5M
関東支部長	中川由紀子	8E



2020年度以降、コロナ禍の影響で支部としての活動も自粛して参りましたが、様々な制限が緩和された昨今、函館支部では、6月9日(金)に連続講座「古楽器を知ろう!!

函館支部

9月9日(土)には、「第2回18世紀の楽器2段鍵盤チェンバロ」を開催しました。第1回に引き続き、森先生を講師に迎えての開催となりました。聴くより弾いてなんぼでしょ!とのことで、私も初めてチェンバロを弾かせていただきました。ハンマーで鳴らすピアノと違い、ピンで弦を引っ掻く構造になっているので、鍵盤のタッチも感覚が違い本当に驚きでした。

今年度中に第3回の開催も予定しております。今後もさらに有意義かつ楽しい場を提供し、交流を深めていきたいと思っておりますので、同窓生並びに関係者の皆さまには、引き続き函館支部の活動にご理解、ご協力をお願いいたします。



「楽器から体感する音楽の歴史」の「第1回100年前のエラールピアノ」を函館市船見町のサロンエラールにて開催しました。市内のチェンバロ奏者森洋子さんを講師に迎え、同サロンが保有する1918年製のフランスのエラールのピアノを用いて、現代のピアノとの違いやピアノの原点を探りました。100年前のエラールピアノから見えてくる情景や、チェンバロ奏者の森先生だから言えるピアノの特徴や色合いなど、音も内容も興味をそそる楽しい講座でした。

最近の主な活動

2023年6月

4年ぶりに総会・懇親会が行われました。

新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、昨年度までは役員のみでの総会という形を取らせていただいていたので、4年ぶりの通常開催となりました。総会では、各支部も含めた現状報告や今後の活動についての議論を交わすことができました。

懇親会は、島村理事長をはじめとしたご来賓の皆様、1期～51期の卒業生の方にご参加いただきました。久しぶりに母校について語り合うことができ、とても楽しい時間となりました。

来年度も通常開催を予定しておりますので、皆様お誘い合わせの上、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。



2023年10月

学生祭に参加しました。

10月21日(土)に学生祭が開催され、薔薇の会は「フリーマーケットと占いの館」ということで参加いたしました。

あいにくのお天気だったにもかかわらず、沢山の方々にお越しいただき盛況のうちに無事終了いたしました。

私たち同窓生も、年代や学科の垣根を越えて親睦を深めることができ、楽しい1日を過ごしました。



薔薇の会事務局からのお願い

薔薇の会では、同窓生の名簿を管理しています。会報などを会員の皆様にお届けしておりますが、毎年改姓等により住所などご不明になる方が多数いらっしゃいます。

改姓や住所変更などがございましたら、事務局までお知らせください。

右のQRコードを読み込んでいただくと、ホームページからの届出も可能です。



青森明の星短期大学薔薇の会役員募集

青森明の星短期大学薔薇の会では、活動にご協力いただける役員の募集を行っております。

主な活動内容は役員会(青森市内にて)、年1回の総会・懇親会の開催、会報の発行、学生祭への参加等があります。

活動にご興味のある方は下記アドレスにお名前、学科、卒業年、電話番号またはメールアドレスを記入の上ご送信ください。(役員ではなく、お手伝いからでも構いません)



◆ 青森明の星短期大学薔薇の会 〒030-0961 青森市浪打2-6-32 Tel:017-741-0123
 薔薇の会メールアドレス: baranokai@aomori-akenohoshi.ac.jp
 (尚、お返事にお時間を頂く場合がありますので、ご了承ください。)

